

連携医院のご紹介

今回は、一般外科の専門医でありながら、開業後はよろず相談医として、地域住民を支えておられる竹内クリニックの竹内 仁志 先生です。



竹内 仁志 院長

竹内クリニック

〒734-0001
 広島市南区出汐2丁目3-28
 電話 / 082-253-8080
 院長 / 竹内 仁志
 診療科目 / 内科・外科・胃腸科



○いつ開業されましたか。

平成2年4月に開業しました。以前は福島生協病院に勤務していましたが、新築ビルが出来たのを機にこの地に開業しました。開業時は高齢者が多かったのですが、最近はサラリーマンの方も増えています。

○開業してから今までのことについて教えてください。

元々一般外科では麻酔をかけたりして全身を診ていましたが、内科をはじめ他の診療科については、研修会に参加するなど自己学習を深めていきました。10年前から在宅療養支援診療所となり、時には夜でも往診に行っています。他院にない特色として「皮内鍼(ひないしん)」治療を開業当初からしています。細く短い鍼を皮膚に浅く入れて数日絆創膏にて固定します。肩こり、腰、膝の痛み等に効果があって、感染のリスクも少ないので患者さんに好評です。

○開業医のやりがいは何ですか。

患者さんの病状から診断をして治療を行い、元気になってもらった時ですね。開業医の力量

では無理なこともあり、県病院に紹介した後、良くなられて患者さん・ご家族に感謝されることもあります。地域医療に貢献できることが魅力です。

○県病院はどんなところですか。

内視鏡は内視鏡内科、高齢者の発熱で外来診療が難しい患者さんは総合診療科、循環器の不整脈は循環器内科などの専門医に紹介できて心強く思っています。特に夜中や週末に重症の患者さんを受け入れてもらって助かっています。



竹内クリニック外観

【取材後記】

竹内先生は優しい笑顔で穏やかに話をされるので、相談しやすい雰囲気でした。初めて「皮内鍼」を見ましたが、想像していたよりかなり小さなもので、驚きました。

もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
 県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

Contents

- 新年のごあいさつ ● 県病院の専門外来(肝臓外来) ● 県病の星(不妊症看護認定看護師)
- 外科医の独り言(省エネ) ● 連携医院のご紹介(竹内クリニック)



雪の日の県病院

謹賀新年

新しい年を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、多くの皆様方にご利用いただき、また、開業の先生方からも沢山の紹介を頂きました。誠に有難うございました。

当院は「県民の皆様へ愛され信頼される病院を目指します」をモットーに、高度先進医療を提供しながら、安心をお届けできる病院として、今年も職員一同精進を重ねて参ります。

また、地域医療を支えておられる先生方とさらに連携を密にしながら、広島に住む方々の健康を守り続けることのできる地域完結型医療を展開する所存です。

皆様方のこの一年が健やかであることを祈念致します。

平成28年 元旦



県立広島病院 院長

木矢克造

県立広島病院からのお知らせ

1月のがんサロン

開催日 平成28年 1月14日(木)
時間 14:00~15:30
場所 新棟2階 総合研修室
テーマ リンパ浮腫
対象 悪性腫瘍(がん)で通院または入院されている患者さん 及び そのご家族
問合せ先 地域連携センター
 総合相談・がん相談室
 TEL:082-256-3562
 (担当:佐々木)

人事異動

退職 (12月31日付)

脳神経外科 部長 **溝上 達也**
 (みぞうえ たつや)
 脳神経外科 副部長 **露口 冨**
 (つゆぐち さゆる)
 (旧姓:宮村)

患者さんへ 紹介状 持参のお願い

初診時に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか**2,690円**のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

※当院では、予約患者さんを優先して診察しています。予約されずに受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。



医療機関の方へ 診察予約 のお願い

患者さんを紹介する際には地域連携センターを通じての診察予約をお願いします。選定療養費の負担もなく、待ち時間も短く、患者さんへのご負担が少なく済みます。ご協力をお願いいたします。



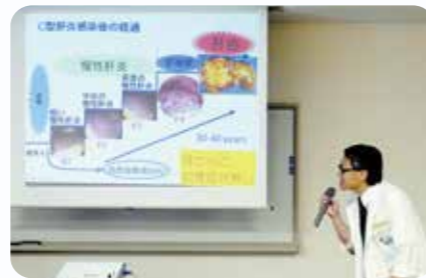
県病院の専門外来

肝臓外来

消化器内科



消化器内科部長
北本 幹也



年に4回「肝臓病教室」を開催しています。

毎週火・木曜日 午後（完全予約制）

■肝臓の役割

肝臓は糖・脂質・タンパク質・アルコール等の代謝、排出、体内に入った毒素の除去、各種体液の維持など500以上の役割があり、肝臓に疾患が発生すると体に様々な影響を及ぼします。

■肝臓の主な病気

肝臓病とは肝臓に発生する病気の総称で、主なものに脂肪肝、肝炎、肝硬変、肝臓がんなどがあります。肝臓は「沈黙の臓器」と言われていますが、病状が進行していても自覚症状が無い事が一番怖いのです。健康診断で肝機能低下、異常と診断されたら、精密検査を受けましょう。

■早めの受診で、肝画像診断を受けましょう。

肝疾患診療は格段に進歩し、従来の主病因であったB型肝炎は核酸アナログ剤の内服で症状をコントロールすることが可能になり、C型肝炎はインターフェロンおよび抗ウイルス薬の内服により、90%以上がウイルスを排除することができるようになってきました。

現在、肝臓外来の役割は、それぞれの患者さんに見合う適切な治療法を提案し、治療を行うことと、肝画像診断を駆使して早期段階の肝臓がんを発見することです。かかりつけ医に通院されていても、年に2回程度、肝画像診断のために受診いただければ、大変有意義と考えています。その受診の際に、上記の日進月歩の治療法に関する情報を聞くこともできるでしょう。

■食べ過ぎ、飲みすぎ、運動不足は要注意！

最近では脂肪肝、メタボリック要因の強い患者さんの増加が目立つようになってきたことから、InBodyを外来に設置し、体内の脂肪量、筋肉量をほんの数分で測定できるようになっています。

ウイルス肝炎は治療可能な時代になってきましたが、脂肪肝予防により健康増進しませんか。



InBody: 体成分分析装置



県病の星

不妊症看護認定看護師

どんなことでも相談下さい！！



生殖医療科外来
植田看護師

不妊症看護認定看護師は、生殖医療科外来で、不妊症や不育症の悩みをかかえるカップルを対象に、検査や治療についての情報提供や、治療の選択についての支援を行っています。また、がん治療などで生殖機能を損なうおそれのある方の生殖機能温存についての支援も行っています。

現在、日本では6組に1組のカップルが不妊症に悩んでおり、体外受精によって生まれる子どもは27人に1人といわれています。不妊症患者さんは増加していますが、それぞれのカップルの抱える事情や、子どもを持つことについての思いは様々です。

不妊治療は、治療をすれば必ず妊娠・出産できるというわけではないため、よく「出口の見えないトンネル」に例えられます。そのような険しい治療の道のりでも、不妊の訴えで受診されるカップルの方から、納得した選択ができたと思っていただけるよう、できる限りのお手伝いをしたいと思っています。不妊症や不育症について、不安な時や悩んでいる時など、どうぞご相談ください。

外科医の独り言 no.52

ー省エネー

明けましておめでとうございます。正月をのんびり過ごされましたか？今この原稿を書いているのは12月の初めなので私自身どんな正月だったのか感想を書くことができません。しかし、12月の初めにしてはなぜか暖かく過ごしやすいのですが、この状態が正月まで続くとスキー場は困ったことになっているはず。冬は冬らしく寒くないと色々なところに影響が出てきます。

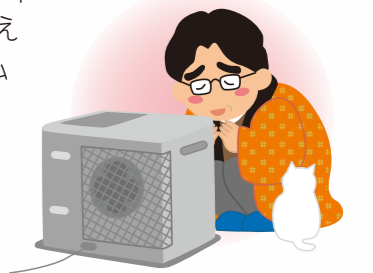
私は今の庄原市西城町の出身なので寒さは苦になりませんでした、と過去形になっているところが今回の話題でしょうか。田舎で過ごした小・中学校では体育の授業でスキーがあったくらい雪の降る所で育ったにもかかわらず、小学生の時は1年中半ズボンで過ごしていました。今でもたまにいますよね、真冬に半ズボンを着ている小学生は。今思い返してみてもなぜ半ズボンを着ていたのか理解できません。母親は諦めていたのでくどくど言いませんでしたが、少なくともやせ我慢ではなかったと思います。鳥肌も立っていませんでしたので寒さで困ってはいなかったのだと思います。一つ言えるのは真冬の寒い中、半ズボンで通学しているのを見た近所のおばちゃんから「元気だねえ」と言われることがモチベーションの一つになっていたかもしれません。もちろんその当時は太ってはいません、むしろガリガリに痩せていました。

太っていると寒くない？皮下脂肪があるから暖かい？これは間違いです。医学的には暑さ寒さの刺激をまず感知するのは皮膚にある温点と冷点という感覚点です。したがってその下にある皮下脂肪は関係ありません。しかも温点に比べて冷点は10倍くらいあるので寒さにより敏感なはず。寒い時に歯がガチガチいって体がふるふる震えますよね。これは皮膚の神経が寒さを感じるとこの刺激を脳に伝えて、筋肉に痙攣するよう指令を出すのです。指令を受けた筋肉が痙攣することにより熱を発生させ体温

を維持しようとするわけです。ヒトの体の中で熱の発生源は筋肉なのです。皮下脂肪が燃えるのではありません。寒い時におしっこをするとブルブルと震えが来ませんか？これは暖かい尿を放出することで体から熱が奪われるので、その熱を補うために筋肉が痙攣するのです。一般に女性は、男性に比べて筋肉量が少ないので基礎代謝量も少なく、熱を発生しにくいことから寒がりなのかもしれません。しかし、考え方を変わると女性の体は省エネにできているのです。じゃあお相撲さんは真冬でも着物一枚で歩いているけどどうなの？という疑問が湧くかもしれませんが、お相撲さんは皮下脂肪も多いけど筋肉量も桁違いに多いのです。

実は小学生の時の私は、学校からの行き帰りは走り通しで、学校に着くと雪の積もった校庭でサッカーをしていました。今から考えると絶対に筋肉を使っていたので熱が発生して寒くなかったのだらうと思います。確かに雪上サッカーをしていても汗をかいていましたから。しかし残念ながら授業中は筋肉を使うことができません。服は雪でぬれしかも半ズボン、一度汗をかいた身体が冷えきり凍死寸前の私を見かねた担任の先生は、石炭ストーブの一番近くに私の机を配置してくれました。ただし真冬に廊下に立たされると最悪です。廊下にはストーブがありません。ずっとその場で筋肉を使わないと凍死してしまいます。授業中に廊下を走る訳にもいかなないので足踏みをして耐えるしかなかったのです。

さてそれから50年近くたって筋肉も衰え皮下脂肪も増えた私はすっかり寒がりになり、今廊下に立たされると間違いなく凍死してしまおうでしょう。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長)板本 敏行(いたもと としゆき)



手作りの花器に活けてます

院内の活花展

当院の池坊華道部は毎年11月に活け花の展示会を開催しております。池坊華道部は県立広島病院が戦前の水主町(現在の中区加古町)にあった時代に発足し、現在まで続いている歴史あるクラブです。メンバーは看護師や薬剤師、検査技師、看護補助者などの職員です。花を活けることでリフレッシュしています。

